

鎌倉街道 上道 (かみつみち)



① 京→上野国府→武蔵国府→相模方面へ向かう道はあったが、頼朝が鎌倉を本拠にしてから、「いざ鎌倉」と馳せ参じる道が整備された。鎌倉時代から戦国時代までの関東武士の栄枯衰退の歴史を物語る道でもある。しかし詳細な道筋や姿はあきらかでなく「幻の道」と呼ばれている。

② 鎌倉街道は一つの道ではなく、主に「上道」「中道」「下道」と呼ばれている道が存在した。上道とは、鎌倉の化粧坂を越えて梶原・深沢・村岡・柄沢・俣野で旧東海道を横切り下飯田・上飯田・瀬谷駅・上瀬谷・町田駅・本町田・七国山・小野路から府中国府に北上する道である。俣野～町田駅の間は境川左岸に沿う



横浜市下飯田の上道を行くと長後街道へ出る。

この藤沢・横浜市境の鎌倉街道上道沿いに境川(相模原市の城山湖付近が水源)が流れている。
 境川：高倉堰に他社のゴム堰が設置されているが、境川高鎌橋から長後街道に入り長後橋方面に向かうと、この度完成した引地川：長後堰が近くにある。

引地川 長後堰 (幅 9 m, 高 1 m)



ゴム袋体にフィン(水切り)があるため振動防止にもなる。
 下流の石川堰と比較して見てください。



← 引地川：石川堰(他社施工)

この3箇所は2010年前後に完成し、比較できるので今後を見守りたい。

③ 関東地方には「鎌倉街道」と呼ばれる道が多数残っていますが、この上道(かみつみち)ルートには、町田市の七国山・野津田・小野路があり、これほど雰囲気が残っている処は他にありません。

七国山の峠には鎌倉井戸と呼ばれる井戸址がある。新田義貞が鎌倉攻めの際に軍馬にこの井戸の水を与えたとの伝承が残っている。



七国山の旧街道



鎌倉井戸

④ 鎌倉街道の宿場町だった町田市・小野路は、江戸時代：大山詣での人々にぎわった。幕末には新選組の近藤勇や土方歳三が、京へ行く前に名主の小島鹿之助の処に剣術の出稽古にたびたび訪れていた。

現在、宿場通りは、道路を広げ、大型バスが通行できるように拡幅工事中であった。(小島資料館 HP)



小野路宿 (小島記念館前)



薬師池公園



町田ダリア園

七国山周辺には、町田ダリア園，ポタン園，薬師池公園など四季の花が咲き誇る行楽地がそろっている。



町田ポタン園

⑤ この上道は、戦国時代まで、坂東武者や軍馬が疾走し激しい合戦が繰り返された街道であった。そのためこの道筋には、井手の沢，分倍河原，小手指ヶ原等多くの古戦場跡が今に残されている。

江戸時代に入ると五街道が整備され、上道は幹線道路としての使命を終え、今はわずかに農道や林道して残っている道が旧鎌倉街道として言われている。森の中に忘れ去られた道は開発され、多摩ニュータウン，多摩川を渡ると、いくつかに分かれサントリー武蔵野工場，東芝府中工場を通過し、国分寺跡付近で合流し、玉川上水の鎌倉橋を渡りブリヂストン東京工場の中に消えて行った。

文献：芳賀善次郎著 『旧鎌倉街道 探索の旅 上道編』